

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		科学実験教室推進事業		課名	生涯学習・スポーツ課	事業No.	284
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H11	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			第2次飯田市教育振興基本計画			
	法令・例規等						
事業目的		対象	小、中学校（児童、生徒及び教員）、市民（親、地域の役員等）				
		意図	児童、生徒が科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	小中学校をはじめとした市民が、科学の楽しさや不思議さを学ぶことで興味を持つことができるよう、おもしろ化学工房スタッフによる理科実験ミュージアム、出前工房、学校クラブ活動支援、科学実験教室等を行いました。		理科実験ミュージアム運営事業補助金				963					
			その他の経費				0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	理科実験ミュージアム参加者数		人	2,000	5,784	3,000	6,242	5,000	7,561	7,000	1,097	
	出前工房参加者数		人	4,000	3,448	4,000	3,702	3,000	3,636	3,500	1,662	
	支援事業参加者数		人	1,000	1,317	1,000	1,454	1,000	1,382	1,200	883	
2年度決算(千円)	予算額		1,050	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		963									
	財源の状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		963										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	10	5	1	10	4	1,050	963	科学実験教室推進事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等により、前年度に比べて参加者が大幅に減少しましたが、年度中盤以降は、実施回数を減らし、感染症対策を講じて実施しました。本事業について、様々な団体から依頼があり以前より、スタッフの拡充や育成、また、単独の事業としてではなく、各地域との連携体制の構築が課題として挙げられます。本年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施および実施内容に大幅な変更が迫られ対応に苦慮しました。								
上記の課題解決のための有効策		本事業の体験者に対して、スタッフ加入の呼びかけや、配布チラシにスタッフ募集の記載、ホームページ等を活用してスタッフ募集の発信を行いスタッフの拡充、育成に努める必要があります。また、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に事業を実施することが求められます。								
次年度に向けての取り組み		引き続き本事業を実施し、上記記載したことを実践し、スタッフ確保に努めるとともに、高等学校等に対して協力依頼を行いながら周知、実施していきます。								